

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	西脇市健康づくり推進協議会
開催日時	令和6年10月3日（木） 午後1時30分～3時00分
開催場所	西脇市役所 委員会室
出席委員の氏名又は人数	村上典正委員、齋藤博史委員、南久雄委員、井上修一委員、岩井正秀委員、山下久美委員、東田和夫委員、岡井定子委員、大橋正子委員、新保安章委員、高瀬徳美委員、時政良光委員、一原由紀委員、清水泰明委員 計14名
欠席委員の氏名又は人数	吉田いつみ委員、富永なおみ委員 計2名
出席職員の職・氏名又は人数	くらし安心部長 萩原靖久 福祉部はびいくサポートセンター長 村井真紀、同センター主査 村上真弓 福祉部長寿福祉課長 浦川知美 くらし安心部保険医療課長 大地佳代 くらし安心部健幸都市推進課長 依藤嘉久、同課課長補佐比留田展忠、同課課長補佐 岡本洋子、同課主査 西村香 計9名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0人
議題又は協議事項	(1) 第2期にしわき健康プラン（西脇市健康増進計画・西脇市食育推進行動計画・西脇市自殺対策計画）（案）について

会議の記録（概要）	
	1 開会 2 挨拶 3 報告・協議
発言者	(1) 第2期にしわき健康プラン（西脇市健康増進計画・西脇市食育推進行動計画・西脇市自殺対策計画）（案）について
事務局	（第2期にしわき健康プラン（西脇市健康増進計画・西脇市食育推進行動計画・西脇市自殺対策計画）（案）第1章について説明）
会長	ただ今説明がありました内容について、ご質問ご意見がある人はお願いします。  <特になし>
事務局	（第2期にしわき健康プラン（西脇市健康増進計画・西脇市食育推進行動計画・西脇市自殺対策計画）（案）第2章32ページまで説明）
委員	<p>健康づくりで、健診を受けた人は結構ありますが、その結果、異常有、要注意、要医療の人がどれだけ受診しているかというデータがないですね。健康保険の会社の事業で産業医として行って、会社の健診の後を見ていると、異常有で、ほっておられる方が結構います。そのあたりをフォローしていかないと、せっかく健診をどんどんしてくださいと言っても、その後の事後処理をきちんとしないと何もならない。そのあたりのデータがここに出てきていない。</p> <p>それから国民健康保険だけですね。西脇市の国民健康保険の人数というのがどれだけかというのが、このデータの中に出てこないです。社会保険の人は企業で健診を受けていると思います。ある企業では社員と家族も一緒に健診を受けないと駄目という企業もあるくらい、社会保険の方は頑張ってやっておられる。そのデータが取れないと思います。そのあたりで西脇市の方がどれだけ健康に関心があるかということは、国民健康保険だけでは言えないのではないかと思います。</p>

もう一つ、食育は野菜を摂りなさいとしか出てこないです。食育はそれだけでよいのか、いわゆるタンパク質を摂る話は言わなくてよいのか。これは十分摂れているから言わなくてよいのか。

後で出てきますけど、高齢者のフレイル対策では野菜だけ摂っていたらだめだと思います。やはりタンパク質をしっかり摂らないとフレイル対策にならないと思います。それなのにアンケートでは野菜の話しか出てこない、これは何か理由があるのでしょうか。

事務局

健診を受けられた方につきましては、早期に血液検査の結果で、受診が必要な方へは健診機関の方から、結果が早くに帰ってきますので、その方へすぐ訪問により受診を促しています。

また、がん検診で、要精密検査の方につきましても、検診の結果を通知させていただいてから、2、3か月経っても受診の結果が返ってきていない方について、受診を進める通知や電話、訪問をしております。

がん検診の種類によっては、精密検査の受診率の方も差がありますので、その状況を踏まえて、評価させていただきたいと思っています。

事務局

2点目の国民健康保険のデータだけでよいのかという点につきましては、市が分析可能なものが、基本的に国民健康保険と後期高齢のデータになっております。社会保険の方のデータを国の方で開示してくれればよいのですが。

NDB（匿名医療保険等関連情報データベース）というデータもありますが、まだこちらの整備が進んでいない状況にあります。ただ社会保険は基本的に若い方が多いということで、国民健康保険の方を見ておけば、高齢の方が多いため、健康状態の把握について大まかにはできるのではないかと感じています。

3点目の食育について、たんぱく質、野菜ばかりでよいのか、についてですが、食育につきましては具体的にどういうふうに取り組んでいくのかというのは、後ほどライフコース別にそれぞれの介入の方法、推進の方針について定めていくことを後ほど軽く触れ、また、次回により詳しいところをご説明できればと思っております。

	<p>実際、北播磨全体の食の傾向を見ますと、やはり塩分が高めというような結果がございまして、その塩分の排出に有効とされているのが野菜の摂取というところもございしますので、ひとまずは全体的な傾向としては野菜の摂取量を何とか引き上げていこうということです。昨年度、野菜の摂取量の調査を、啓発ですけれども町ぐるみ健診、あるいは地域のイベントで推進することとしております。</p> <p>フレイル対策ということで、タンパク質の摂取が必要ということは承知しております。こちらについては、ライフコース別のアプローチというところで、特に高齢者の方にはたんぱく質の摂取を呼びかけるということは、後ほど出てくる予定です。</p>
委員	<p>野菜は分かりますが、アンケートを取る時、どこかのデータ、アンケートの基盤があるのであれば仕方ないですが、西脇市独自でアンケートされるのであれば、たんぱく質、動物性たんぱく、植物性たんぱく両方の摂取傾向について、データとして欲しい。</p> <p>それと異常のある方には保健指導を促しているとはか言っていないですね。本当に治療に行っているかどうかというデータはないんですね。我々産業医も会社の従業員に関して、病院を受診してくださいと促しますが、その結果が返ってきません。きっちりフォローしないと促しているだけでは、せっかくの健診を何のためにしているのか、本当にがん予防に行くのか、血圧予防対策に行っているのか、そのあたりをフォローしないと、ただ健診しました、促していますだけではいけない気がしますどうですか。</p>
事務局	<p>医療へ接続することが必要な方につきましては、訪問等をしています。個々の受診状況は、K D B（国保データベースシステム）や診療情報を確認していますが、全数の受診結果までは、把握してまとめきれない状況です。また、今後どれだけが受診されたかを踏まえて、まとめていきたいと思っております。</p>
委員	<p>お願いします。</p>
事務局	<p>（第２期にしわき健康プラン（西脇市健康増進計画・西</p>

	<p>脇市食育推進行動計画・西脇市自殺対策計画）（案）第2章33ページから説明を再開）</p>
会長	<p>ただ今説明がありました、全体を含めて何かご質問、ご意見ありますでしょうか。</p>
委員	<p>前半の部分の説明で、8ページ、合計特殊出生率、西脇市は1.31、全国平均が1.33、兵庫県が1.39で西脇市が一番低いです。これが令和2年、確かコロナが始まって一番コロナの渦中だったと思いますが、この後は分かりますか。</p>
事務局	<p>直近データが令和2年で、まだ国の方で集計中です。</p>
委員	<p>市の広報を見ていると、お悔やみの欄はたくさん書いてありますが、おめでたの欄は最近すごく少ないです。月によっては5人とか6人の時期もありました。3万8千人の人口の町で5人、6人はあまりにも少なすぎるのではないかと思います。</p> <p>最近のものはまだわからない、出ていないということですね。</p>
会長	<p>出生数はわかりますか。</p>
事務局	<p>出生数は同じく8ページの上の(1)（出生数及び死亡数の推移）に記載しているとおりです。ただ委員からのご指摘もありましたが、やはり減少傾向にあるのは事実です。</p> <p>ただ出生率の向上については、健康づくりだけが要因ではなく、社会的、経済的な様々な要因が複雑に絡み合っているようになってきていると認識しており、本市も様々な取組を進めておりますが、大きな流れには抗えないといった状況です。</p>
会長	<p>他によろしいでしょうか。</p>
委員	<p>全体的に目標値はどのように設定されていますか。いろいろパーセントが書いてありますが、何に対する、どういう計算でパーセントが出てきますか。各項目、全部目標値があります。</p>

委員	A B C というものですか。
委員	そうです。それを達成するための目標値がベースでないと判定できない。これの出し方は何かありますか。
事務局	それぞれの項目によって異なりますが、例えば国が受診率60%を目指すとしたときに、西脇市の現状値が30%であったとします。10年で何とか60%を達成するように、どこまで上がっていきたくらう、というふうに逆算することが多いです。にもかかわらず、例えば健診の受診率であれば、現実には40%程度にとどまっていたりするなど、中間評価などもしますが、なかなか難しい状態にあります。項目ごとによって定め方は異なっております。
委員	もう一つ、この委員会で決める事は、概略、総論だけでよろしいですか。各論的に具体的にどうしていくとか、こういうものの予算づけはどうなっているかを検討しなくてよいのでしょうか。
事務局	<p>基本的にはあくまで方針を定めていくこととなりますので、第3章の説明が残っていますが、過去を振り返った第2章までを見た限りでは、なかなか実現が難しかったですね、というようなことを今総括させていただいた状況にあります。この会議におきましては、全体の方針を今からご説明した上で、次回に各項目ごとに目標値を事務局の方から提案をさせていただき、その際には、提案の根拠を合わせてご報告をさせていただきます。その目標値が妥当であるかをご審議いただければと思っております。</p> <p>予算の話ですが、この計画で特にここを重点的に取り組む必要があるのではないかということに対しては、こういった審議会の場合での意見は非常に重いものであるため、我々としても、上層部の方にしっかり意見を伝えた上で、できるだけ必要な予算の獲得ができるように努めます。</p>
委員	各論は後という事ですが、34ページに身体活動・運動についてのところで、年代に応じた運動やスポーツを楽しむ多様な機会づくりとともにと書いてありますが、誰もが運

	<p>動を気楽にできる環境づくり、こういう中で、今、小中高の学童数が減ってきて、学校のクラブ活動が減ってきているという話を聞きます。ある中学では野球部がなくなるとか、多可町ではクラブ活動がなくなるような話があり、勝手に個別で運動してくれといったような話も出てきていますが、西脇市の方はどうですか。</p>
<p>委員</p>	<p>多可町の場合は部活動という組織はなくなるが、地域で子どもたちが活動する場所というものを、西脇市も同じ様な形で考えておりますので、勝手にやってもらうわけではなく、中には地域の西脇公園でしている、例えば、ジュニアテニス教室や中学校教諭OBがしている陸上教室がありますが、たぶん令和9年にはその方向でいくこととなります。そうなっても地域の部活動、それから先生が土日になんかという形でサポートするのか、一度になくなるという事はございません。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりました。そうすると送迎の問題ですね。学校の中でのクラブ活動であれば親に負担はかからないけれども、今後、地域でやるとなれば、やりたいけれど、そこへ誰が連れて行くのかという話も出てくると思います。後でも出てきますけれども、公共交通の整備とかありますが、そのあたりが本当に充実していくのか。JRにしても廃止になるのでは、神姫バスも減便になるのではないかという中で、クラブ活動の場合にどれだけの子どもが、交通機関がないために運動の習慣がなくなってくるのではないか、という心配もあります。そのあたりを総合的に今後考えていかないといけない。少子化による運動不足というか、運動から離れていくのではないかという懸念があります。特に、野球部がなくなるという話を中学校で聞き、寂しい話だと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご指摘のとおりです。委員からもご意見いただきましたけれども、今、教育委員会それから地域の方でその部活動の地域移行について協議を行っております。そういった中で、どうやって運営していくのか、また、送迎についても話が出ており、なかなか一朝一夕に答えが見つからない状況にありますので、そちらの議論を待たないといけないの</p>

	<p>ではないかと考えております。</p> <p>この会におきましては、健康の側面からも公共交通の大切さというのを伝えていきたいと考えており、ご指摘いただいたとおり、昨今のJR問題、それから神姫バスも値上げをされたり、減便をされたりということが相次いでおります。</p> <p>ただ、西脇市においては、近隣にない取り組みとして、「むすブン」などのいわゆるデマンド型のタクシーを数年前から稼働しております。これが非常に好評で、効果としては買い物に不便を感じておられる高齢者など、その不安がだいぶ減ってきております。それから通院もしやすくなり、外出の促進にもつながるという結果が出ています。</p> <p>もちろんサービスには限りがないので、呼んだら直ぐに来てほしい、家の前まで来てほしいなど、いろいろなご要望があることは十分に存じておりますが、外出を促進していくことで結果的に健康の促進にもつながる、そういったところに次のスポットライトを当てていきたいと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしいですか。</p> <p>&lt;特になし&gt;</p>
<p>会長</p>	<p>次に第3章へ移ります。</p>
<p>事務局</p>	<p>第2期にしわき健康プラン（西脇市健康増進計画・西脇市食育推進行動計画・西脇市自殺対策計画）（案）について第3章について説明）</p>
<p>会長</p>	<p>ただいま説明のありました内容について、ご質問、ご意見はございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>最後の計画の基本的な方向ですが、書いてあることはものすごくよいことが書いてあります。具体的にどんな事をするのかというような項目もありますが、市としてできることとできないことがあるかと思えます。一つは44ページにある、「おのずと健康になる仕組みづくり」の中で、歩きやすい歩道の整備や公園・緑地の活用がありますが、い</p>



わゆる歩道の整備となると県道、国道はどうするのか、触れないですね。歩道の整備でよくあるのが車道と歩道のところに段差をつけてしまうと、車椅子の方とか歩行車を押している方が向こうの店に行きたいと思っても、段があると横断できないことがあると思います。神戸市では割と歩道と車道の境を斜面的にして、水が歩道の方に来ないような方法が見受けられるので、そういうことができるのか。

健康的な公園ですが、土地はどこで探してくるのか。公園の整備をしますと言って、それだけの空き地を市として持っているのか。

健康的な食品を選びやすい環境づくりをどうするのか、どの様にして健康的な食品を選びやすい環境をつくってどうするのか。言うことは簡単だがどうするのか。

心の健康で職場のストレスチェックの普及促進というのを、市はどうするのですか。助成金を出すのですか。かなりお金がかかるので、ストレスチェックが始まったときは事業所で多く実施されていたが、だんだんお金がかかるばかりでメリットが少ないと辞めている企業も多い。これを職場の方でストレスチェックの普及促進はどのようにするのか。お金がかかってくることに対する助成金がどこから出るのか。

中高年の過労対策はどうするのか。仕事に対することは市がどうやってこれに対して取り組めるのかな、という素朴な疑問があるんですが、いかがでしょうか。

事務局

まず順番にハードの整備のところからお答えを申しますと、歩道の整備につきましてはご指摘のとおり、市だけではなく、国や県と連携しながら進めていく必要がございます。

一例として、市が取り組んでいるオリナス周辺のゴムチップ舗装の歩道です。これは通常の歩道を作るよりも、かなり特殊な舗装をしておりますのでコストはだいぶかかりましたが、まずは1回やってみようということで市役所内の別の部署と連携しました。その結果、夕方以降、夏の涼しい時間になると、かなりこの前を歩かれたり、走られたりする方が増えてきました。こうやって社会的な仕組みを整えることで、健康の取組を自発的に促すということで成

功した一つの事例かと思えます。それをご覧になられた兵庫県の方が、もう一つ縦に大きな東西道路っていうのを作っています、そちらの方でも歩道をちょっと広く取ろうかということ、県のハードウェア部門の部署と連携しながら取り組んでおります。

国につきましては、そもそも国交省が歩道の段差をできるだけ減らして、高齢者の外出意欲を高めていこうという方向に舵を切っており、そちらの補助金などをうまく活用しながら取り組んでいきたいと思っております。

公園ですが、新たに何か公園を作ろうということではなく、例えば公園の遊具が傷んでいる、これをどうしようかとなったときに、市民の健康の観点から考えてもらうというような視点を一つ追加するという形です。今までは子どもたちが遊ぶから怪我をしないようにということが基本的にあったわけですが、いろいろな世代の方が健康遊具を公園に設置することでおのずと健康行動をとる、そういった視点を追加していく。実際にそういう協議もしております。

3点目の食品について、こちらにも実際難しいですが、例えば今年、兵庫県の県民局の方でスーパーとタイアップして、そのスーパーでこういう食べ物をとると体によいよ、というような啓発活動を実際に行うことを予定しております。こういったことを手始めにしてポピュレーションアプローチに取り組んでいきたいと思っております。

他に西脇市が取り組んでいる一例としては、外食をされる方は塩分をとりすぎだとか、野菜が少ないなど罪悪感を抱えられている方が多いものですが、それを逆手にとって健康によい外食の機会を提供する「健幸メニューキャンペーン」を令和4年度から実施しております。例年1,000食程度、1食1,500円ぐらいしますが、かなり食べられており、新しいお客さんにつながっているということで、参加いただいている業者からも好評をいただいております。

心のストレスチェックの部分ですが、確かにコストが伴うものについて市から助成するという点については軽々にできると申し上げられません。そういった状況にあります。ただ産業保健師ですね、会社の中にも一定規模のところであれば、保健師を抱えておられるところがあったり、また昨今、どんな企業であっても、社員の健康管理というのが重要になっておりますから、そこでの意識を合わせて

	<p>いく、例えば会議を行うとか、アンケートを取るなど、ちょっと介入していく、そういった取り組みを現在は想定しております。</p> <p>最後の中高年の例えば過労対策をどうしていくのかという点、実際に何ができるのかというと難しいですが、やはり睡眠をしっかりと取りましようとか、就業をちょっと減らしましようとか、そういったところの取り組みから地道に取り組むしかないのかなと考えております。</p>
委員	<p>外食チェーンでも最近、減塩醤油を置いている店が出てきていますので、全体的に健康志向が進んでいるかなという事を感じています。</p> <p>もう一点、先ほど説明に出てきたスマートウォッチは、どこかから助成がありますか。</p>
事務局	<p>ございません。スマートウォッチを使って何かをするというのを市が支援するというよりは、スマートウォッチを使えばこういうことができますよとか、かなり着用率が増えてきている昨今、有力なコンテンツが出てきたら紹介することはやぶさかではありません。今、活動量計で歩数を測ることを西脇健幸ポイント事業でやっています。今年解禁したのは、スマートフォンを使って歩数を確認する。もう一つ実はバージョンがありまして、スマートウォッチでも一応できることはできますが、技術上の問題から解禁をしていない状態です。スマートウォッチ側が変わってくれば、取組は広がっていくので、その都度何ができるかということは考えていきたいと思えます。</p> <p>購入助成については考えておりません。</p>
委員	<p>もう一つ、オンラインによる健康相談の実施について、今現在スタートしていますか、これからですか。</p> <p>それと時間帯ですね。9時から5時なのか、夜遅くまでオンラインだからできますか。</p>
事務局	<p>これにつきましては深く具体化をまだ考えているわけではないですが、ただ保健指導するときに、現在、共働き家庭がかなり増えており、9時から5時の時間帯でのアポ取りが大変難しいような状況になっています。そういった中</p>

<p>委員</p> <p>会長</p>	<p>で職員も働き方改革がありますので限度はあるかと思いますが、家までは来ていないけれども、オンラインだったらちょっと指導を聞いてみたいというような声も一部にありますので、できるだけ夜の時間帯で対応できる範囲でオンラインを活用して取りこぼしをできるだけ少なくしたい、そういう取り組みをしているところです。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>他にございますか。 それでは、本日の報告・協議は終了といたします。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>西脇市くらし安心部健幸都市推進課</p>